えいなん

弥富市立栄南小学校
学校通信　No. 7
令和２年７月２０日

「履き物を揃える」

登校後の下駄箱を見ることが、毎朝の日課です。みんな元気に登校しているかを確認するためです。そこで、かかとまで、ピシッと揃っている靴を見ると気持ちがよいものです。それが学級全員だとなおさらです。

履き物は、自分の靴だけではありません。学校では、みんなが使うトイレのスリッパもあります。スリッパが乱れた脱ぎ方をしていたら、どうでしょうか。見た目はよくないし、次に履こうとしたときにスムーズに履けず、戸惑ってしまいます。

右の詩には「履き物を揃えることは、自分の足元を見て、自分の行動を振り返ること、そして、周りへの優しさや思いやりをもつことにつながる」という教えが書かれています。

次に使う人が、気持ちよく、また履きやすいようにと相手のことを考えて揃えること、これが「思いやり」です。思いやりの原点は、相手を「思う」ことです。「相手への思いを自分の行動で示す」ことも言えます。

揃っていない履き物をみかけたら・・・だまって揃えてあげる、そんな優しさももってほしいものです。

どんなことも、聞いただけ、知っているだけでは、あまり役には立ちません。できるようになるには、自分でやってみるという練習の積み重ねが大事です。「履き物を揃える」というのも、その一つだと思います。学校だけに限らず、家でも積み重ねは必要です。繰り返していると、それが「当たり前」になります。

はきものをそろえると　心もそろう
心がそろうと　はきものがそろう
ぬぐときにそろえておくと
はくときに心がみだれない
だれかが　みだしておいたら
だまってそろえておいてあげよう
そうすればきっと
世の中の人の心もそろうでしょう

藤本幸邦（ふじもとこうほう）（長野県円福寺住職）

熱中症対策としての「携行品の負担軽減」について

文部科学省は、平成３０年９月に「児童生徒の携行品に係る配慮について」において、教科書やその他教材等の持ち帰りについて、必要に応じて適切な配慮を講じるよう通知し、本校においても、学校に置いておくものを決め、児童の負担をなるべく減らすよう務めてきました。

そこで本年度においては、夏季に授業を実施するため、本校では、**夏季授業日における登下校時の熱中症対策の一環**として、「携行品の負担軽減」について、以下のように進めていきたいと思います。

- **筆記用具（筆箱・下敷き等）は、毎日持ち帰る。**
- **その日に必要な家庭学習（宿題）で使用する教科の教科書、ノート、ドリル等は持ち帰る。**

以上を基本としますが、学習状況により担任が持ち帰る教科書等を別途に指示することがあります。また、家庭学習の充実の視点からは児童の健康面や体力面を考慮しながら持ち帰る教科書や教材について、ご相談いただくようお願いいたします。

臨時下校バスの運行にあたって･･･以下の点につきまして、ご理解ご協力お願いいたします。

★バスを利用する児童については、17日（金）に「バス札」を配付しました。乗車する日に必ずランドセルに付けてください。
★毎日、引率教員が乗車します。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「乗車前に児童の手の消毒の実施」「車内マスク着用・会話はしない」「換気のため窓を開けての走行」とさせていただきます。
★校舎北側駐車場で、児童はバスに乗車します。ご承知おきください。

学校の様子から